

## 第 2 回懇談会意見まとめ

## 本橋（あ）委員

- ・ 持続可能な観光について、より具体的に言語化が必要
- ・ 地域の課題と観光客のニーズをマッチングさせ、課題解決につなげる仕組みや体制があるよい

## 北村委員

- ・ 外国人旅行者が市に訪れるきっかけや観光情報をどこから得ているか捉えると今後のプロモーションに役立つ

## 嶋田委員

- ・ サステナブルツーリズムの推進には、地域の市民・事業者、行政全体として取り組むムーブメントを起こし、共に取り組む姿勢が重要

## 本橋（大）委員

- ・ 東部地区でも新しいコンテンツづくり、インバウンドの強化が重要
- ・ サステナブルツーリズムやエコツーリズムなどの取組で他地域と差別化を図ることが重要

## 鞆矢委員

- ・ 伝統芸能の継続には、披露する場が必要なため、観光客に提供することで新たな参加者・担い手を増やすことが重要

## 小澤委員

- ・ 観光地の混雑は改善傾向であるが、オーバーツーリズムにならないように注意が必要
- ・ 地域のお祭りなどの担い手不足を観光と結びつけて地域文化を守ることも有効
- ・ 多摩川のゴミも地域の清掃活動の影響で改善している
- ・ これまでは観光客の数が重要な指標であったが、今後は長期滞在して魅力的な旅行となるような質を重視していきことが重要

#### 村上委員

- ・地域と連携し鉄道利用を通じた地域の魅力を高める取組を行っていくことが必要

#### 横澤委員

- ・今後の5年間計画を進めるにはモニタリングし評価検証することが重要
- ・インバウンドの対応では、青梅単体ではなく奥多摩を含めて広域的捉えることが必要

#### 小島委員

- ・観光の推進には、地域の理解が重要であり、観光客が訪れ店舗などが増えると地域にとっても有益である

#### 金井委員

- ・観光客の増加が市民の生活の足（公共交通）が充実するような関係性が望ましい
- ・地域課題をアートプロジェクトの手法で解決するような試みもできる

#### 越前委員

- ・青梅市は標高差が1,000メートルあり自然環境の豊かさを生んでおり、観光資源として活用できる
- ・山林や農業のような一次産業との連携強化も重要